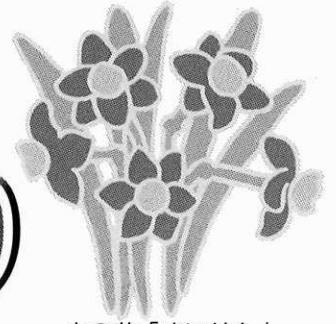


和泉市議会だより



市の花「すいせん」

一般選挙後
初の議会を開催

議会の新役員が決定

議長に ^{は ま だ} 浜田 ^{ち あ き} 千秋 議員
副議長に ^{や ま も と} 山本 ^{ひ で あ き} 秀明 議員



第67代副議長

山本 秀明



第67代議長

浜田 千秋

就任のごあいさつ

市民の皆さまにおかれましては、日頃より市議会の活動に格別のご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。このたび、第67代市議会議長並びに副議長に就任させていただきます。身に余る光栄と感謝申し上げますとともに、円滑な議会運営のため最善を尽くす所存でございます。さて、全世界で猛威を振るい私たちの生活を一変させた新型コロナウイルス感染症は、未だ収束の兆しは見えず、市民・事業者への影響は多大なものと実感しております。そのような中、皆さまを支援できるように様々な支援策を実施するとともに、必要な支援策の要望を行うなど、継続

市民の皆さまにおかれましては、日頃より市議会の活動に格別のご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。このたび、第67代市議会議長並びに副議長に就任させていただきます。身に余る光栄と感謝申し上げますとともに、円滑な議会運営のため最善を尽くす所存でございます。さて、全世界で猛威を振るい私たちの生活を一変させた新型コロナウイルス感染症は、未だ収束の兆しは見えず、市民・事業者への影響は多大なものと実感しております。そのような中、皆さまを支援できるように様々な支援策を実施するとともに、必要な支援策の要望を行うなど、継続

第3回定例会を開催

令和2年第3回定例会を10月1日から10月30日までの30日間の会期で開催しました。本定例会では、和泉中央駅前広場改修工事請負契約締結や令和2年度一般会計補正予算(第7号)の議案を含む51件の議案等を審査し、9件の決算認定案件を特別委員会での継続審査としました。和泉中央駅前広場改修工事は、本年度着工し、令和4年度末竣工予定となり、改修後は、市民・事業者の皆さまの利便性が向上し、安全に利用できるようになります。

また、令和2年度一般会計補正予算(第7号)は、新型コロナウイルス感染症の影響に対する市の追加支援策となる追加議案が提出されたもので、宿泊需要の回復、医療提供環境の確保、離職者の就労促進などの支援が盛り込まれたものです。

※各常任委員会等の委員の詳細、審議結果、一般質問の内容等については、2頁以降をご覧ください。

監査委員は、市の財務に関する事務の執行及び経営にかかわる事業の管理を監査します。



議会選出監査委員
いしはら ひでこ
石原 日出子



議会の新しい委員等構成

◎は委員長、○は副委員長、委員は議席順に掲載

主な所管事項

- ◇ 市の総合企画、行政経営に関すること
- ◇ 市の財政、市税、出納に関すること
- ◇ 工事等の入札、物品購入に関すること
- ◇ 危機管理に関すること
- ◇ 消防、病院事業に関すること



よしかわ しげ き
吉川 茂樹



お の ばやし し さ お
小野林 治三夫



まつもと としひろ
○松本 利裕



◎ もり ひさゆき
森 久住



はま だ ち あき
浜田 千秋



スペル・デルフィン



はら しげ き
原 重樹



いしはら ひ で こ
石原 日出子

総務企画委員会

主な所管事項

- ◇ 環境保全、生活排水対策に関すること
- ◇ 農林業振興、商工振興に関すること
- ◇ 都市計画、まちづくりの推進に関すること
- ◇ 道路、交通対策、河川管理に関すること
- ◇ 上下水道、消防に関すること



はっとり とし お
服部 敏男



おおaura まさし
大浦 まさし



◎ せき ど しげ き
関戸 繁樹



◎ さかもと けん じ
坂本 健治



い い さ か みつ のり
飯阪 光典



い さ か ゆう た
井阪 雄大



こばやし まさ こ
小林 昌子



やまもと ひであき
山本 秀明

都市環境委員会

主な所管事項

- ◇ 各種医療対策、福祉施策に関すること
- ◇ 国民健康保険、国民年金に関すること
- ◇ 病院事業に関すること
- ◇ 生涯学習、スポーツ振興に関すること
- ◇ 保育所、幼稚園、小・中学校に関すること



たお だ ひでのぶ
埴田 英伸



たにがみ のぼる
谷上 昇



◎ とも だ ひろふみ
友田 博文



◎ まつした ひろゆき
末下 広幸



まつ だ よしひと
松田 義人



えんどう たか し
遠藤 隆志



さかもと じゅんいち
坂元 純一



さおとめ み のる
早乙女 実

厚生文教委員会

決算審査特別委員会

令和2年第3回定例会に上程された令和元年度一般会計、特別会計5件、企業会計3件について、予算が適切に執行されたか慎重に審査するため、本委員会を設置し、11月6日～12日に審査を実施いたしました。

この結果は次号でお知らせいたします。

◎友田 博文 ○松本 利裕 小野林治三夫
 埴田 英伸 吉川 茂樹 森 久往
 原 重樹 小林 昌子 井阪 雄大
 飯阪 光典 坂本 健治 松田 義人

議会運営委員会

議会の円滑な運営と能率的な議事の進行を協議し、意見調整を図ります。

◎松田 義人 ○服部 敏男 大浦まさし
 埴田 英伸 森 久往 早乙女 実
 飯阪 光典 松本 利裕 スペル・デルフィン
 坂本 健治

広報広聴委員会

市議会だよりの編集及び発行、議会ホームページ、その他議会の広報・広聴に関する事項について協議を行います。

◎早乙女 実 ○スペル・デルフィン 谷上 昇
 埴田 英伸 森 久往 坂元 純一
 (議長) 浜田 千秋 (副議長) 山本 秀明

一部事務組合議会

行政の能率化・効率化を図るため、特定の事務を関係市町村で共同処理することを目的として設立された公共団体(組合)で、組合議会は、住民の代表機関として組合の行財政運営や事務処理が適正に行われているかチェックするための機関として設置されています。

- ・泉北環境整備施設組合議会
 大浦まさし 谷上 昇 吉川 茂樹
 原 重樹 友田 博文
- ・泉北水道企業団議会
 末下 広幸 森 久往 遠藤 隆志
 松本 利裕 関戸 繁樹

定例会審議結果一覧表

件名	委員会	本会議
工事請負契約締結について(和泉中央駅前広場改修工事)	可決(全会一致)	可決(全会一致)
一般職の職員の特殊勤務手当に関する条例の一部を改正する条例制定について	可決(全会一致)	可決(全会一致)
地方税法の改正に伴う関係条例の整理に関する条例制定について	可決(全会一致)	可決(全会一致)
令和元年度和泉市水道事業会計剰余金の処分について	可決(全会一致)	可決(賛成多数)
令和元年度和泉市公共下水道事業会計剰余金の処分について	可決(全会一致)	可決(賛成多数)
和泉市都市計画審議会条例の一部を改正する条例制定について	可決(全会一致)	可決(全会一致)
和泉市生産緑地地区の区域の規模に関する条例制定について	可決(全会一致)	可決(全会一致)
和泉市建築基準法施行条例の一部を改正する条例制定について	可決(全会一致)	可決(全会一致)
和泉市手数料条例の一部を改正する条例制定について	可決(全会一致)	可決(全会一致)
和泉市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例制定について	可決(全会一致)	可決(全会一致)
和泉市保育所条例の一部を改正する条例制定について	可決(賛成多数)	可決(賛成多数)
和泉市立体育館条例の一部を改正する条例制定について	可決(賛成多数)	可決(賛成多数)
泉北水道企業団の解散及び財産処分並びに事務の承継に関する協議について	可決(賛成多数)	可決(賛成多数)
令和2年度和泉市一般会計補正予算(第6号)	【総務企画所管分】	可決(賛成多数)
	【厚生文教所管分】	
令和2年度和泉市国民健康保険事業特別会計補正予算(第2号)	可決(全会一致)	可決(全会一致)
令和2年度和泉市介護保険事業特別会計補正予算(第3号)	可決(全会一致)	可決(全会一致)
令和2年度和泉市一般会計補正予算(第7号)		可決(全会一致)

上記の他、議案12件、報告9件、監査報告12件、教育委員会報告1件、をそれぞれ可決等しました。

常任委員会審査報告

第3回定例会で委員会付託された議案の審査を行いました。

厚生文教委員会(10月16日)

和泉市保育所条例の一部改正議案は、芦部保育園・鶴山台第一保育園の廃園に質疑・反対討論が行われ、和泉市体育館条例の一部改正議案は、コミュニティ体育館駐車場有料化後の利便性の向上に期待する質疑が行われた一方、有料化実施時期に対し反対討論がありました。8件の議案を審査し、いずれも可決しました。

都市環境委員会(10月19日)

泉北水道企業団の解散及び財産処分並びに事務の承継に関する協議議案は、施設の老朽化により当該団体の解散を進めていくものであるが、解散に係る関係団体への説明責任の観点や解散自体に対し、反対討論がありました。6件の議案を審査し、いずれも可決しました。

総務企画委員会(10月20日)

令和2年度和泉市一般会計補正予算議案の本市新庁舎立体駐車場に係る変更の実設計委託業務に対し、当初地質調査による設計検討過程、変更後の工法等様々な観点から質疑が交わされ、反対討論が行われました。7件の議案を審査し、いずれも可決しました。

一般質問

18人の議員が市政に関する様々な質問を行いました。

その内容を一部要約して掲載しています。



就学前教育・
保育待機児童の解消
について 他1点
大阪維新の会 坂元 純一



問 待機児童・保育児童が10年以上発生し、令和2年度は大阪府下ワーストワンという状況の和泉市。解消の為の取り組みは。また、公立園の保育士不足による定数受入れが出来ていない状況の解消は。

答 民間認定こども園等が園の児童受入定員増のため、新設及び増改築を行う場合に補助金を支出。保育士の児童の優先入所制度や大学等への募集案内送付など、保育士確保のための努力を続けている。

問 保育需要状況等を踏まえ、公立園3園を拠点園として認定こども園化する計画だが、公立園がセーフティネットとして果たすべき役割についてのお考えは。

答 公立園は、子育て支援に関する先進的な研究や地域の民間認定こども園等への指導や支援と共に、障がいや発達に遅れのあるお子さんたちの教育・保育の充実、幼保小の連携の役割を担う。

要望 保護者ニーズを的確に把握し、公立園の施設整備や統廃合は計画変更や前倒しも検討するなどしなやかさを持って対応を。公立園は今の時代ならではの子育ての悩みや要望を的確にとらえた運営をお願いしたい。待機児童解消のために、できる施策をすぐに実行する姿勢を示すべき。本市が唱える「結婚出産子育てに夢や希望の持てる和泉市」となるよう努めていただきたい。



北信太駅前整備
富秋中学校区まちづくり
構想と小中一貫校
大阪維新の会 松本 利裕



問 議会でも何度も取り上げてきた北信太駅前整備事業の自由通路のバリアフリー化はいつごろ完成予定なのか。

答 駐輪場の移転や事業用地の取得等を進め令和5年度の整備完了をめざしている。

要望 様々な課題はあるが、地権者の方々に丁寧な対応を心がけ、一日でも早い完成を改めて要望する。

問 富秋中学校区まちづくり構想は大規模な事業展開となることから、地域の方々の理解と綿密な計画が必要となる。実現に向けた取り組み状況を聞く。

答 基本計画の策定や事業手法の検討など地域住民の参画を得ながら慎重に進める。

要望 事業の成功に向け積極的に地域の方々と対話して進めるよう要望する。

問 富秋中学校の施設一体型義務教育学校の地域説明会で前向きな意見も聞いたが、小学生と中学生が一緒になる不安も聞いた。小中一貫校の良さを理解してもらうには不安の解消が重要だ。その取り組みは。

答 学校での素晴らしい取り組みを各校のブログに積極的に掲載し地域への情報提供を行っている。

要望 児童生徒の異学年交流を生かした人間関係の構築・仲間づくりや9年間を通した系統的な学習活動など施設一体型を最大限に生かした教育課程を期待する。



その後の手話言語
の理解について

五月会 森 久往



問 まず重要なことを聞きます。手話は言語であるかどうかです。

答 平成23年に改正された障害者基本法でも、「言語（手話を含む）」と明記されました。このことから手話は言語であると認識しています。

問 全日本ろうあ連盟が手話言語法制定を求める5つの権利の主張、1つ目は「手話を獲得する権利」、2つ目は「手話で学ぶ権利」、3つ目は「手話を学ぶ権利」、4つ目は「手話を使う権利」、5つ目は「手話を守る権利」に対して、行政及び学校での取り組みを聞きます。

答 職員向け手話講座の実施、障がいのある人が暮らしやすい地域社会をみんなでつくる「あいサポート運動」における「あいサポーター研修」での手話習得、支援学級での手話授業、教職員対象の手話研修、児童生徒向け手話ボランティア講演、手話言語の新語彙の追加、手話に関する掲示工夫が手話を学ぶ権利に、手話通訳者派遣が手話を使う権利に該当するものと考えます。

意見 1番の問題は、全日本ろうあ連盟が設立して70年以上経った今も手話言語の理解を求めて活動をしていることです。私たちが聴こえる者は自分の言語を理解して欲しいと求めることはありません。手話は自分らしく生きるためのすばらしい言語です。



新型コロナウイルス
の検査体制拡充
について

日本共産党 早乙女 実



問 大阪府における新型コロナウイルス検体採取体制はどうなっているのか。

答 「大阪府検査体制整備計画（案）」による府内検査体制は、インフルエンザ流行期で、最大2万2千件の検査需要を見込み、現在、インフルエンザの流行曲線に合わせ、11月上旬に1日約5千件、12月中旬に約1万件の診療・検査体制整備を目指し、医療関係団体と協議している。なお本市でも、市内かかりつけ医等の医療機関で、受診並びに検査まで行える体制構築を含めた体制拡充に向け、協議をしている。

問 検査が必要な、残りの1万2千件については、どのような対応をするのか。

答 医師の診断のもと、検体を採取したその場で、約3分後に結果が出る「抗原簡易キット」を活用すると「整備計画（案）」で示されており、インフルエンザ流行期では、従来の検査体制に加え、この測定キットの活用を計画している。

問 インフルエンザが流行する時期を迎えるが、患者が発熱症状で医療機関に来院した場合、医療機関では発熱以外の患者と接触しない工夫が必要だが、市立総合医療センターはどうしているか。

答 医療センターでは、建物外に発熱患者専用仮設待合室を3室設置し、発熱症状の無い患者と接触がないよう対策を講じる。



コロナ禍での今後の
支援について
投票の在り方について

公明党 吉川 茂樹



問 新型コロナウイルス感染症は、日常生活を送る上で、感染を広めない事が大切であり、ウィズコロナのもと新しい生活様式の実践が必要不可欠であると考えている。市としてはどのように考えているのか。

答 ウィズコロナのもと新しい生活様式の実践が重要であると認識している。市民一人ひとりの予防意識、日々の体調管理が感染症の予防対策に有効であると考えている。

問 継続的に効果的な啓発活動を実践すること等新しい生活様式が定着すると考える。さらなる感染予防対策として、非接触型体温計の購入費用の助成制度の創設や公共施設への検温モニターの設置を提案するが、本市の考え方は。

答 新しい生活様式の定着は、効果的な感染予防対策であると認識している。今後の支援策については、財政収支を勘案するとともに、新型コロナウイルスの感染状況や経済情勢、国・府の動向も注視しながら引き続き検討してまいりたい。

問 次に、投票の在り方について伺う。有権者の利便性を考えると期日前投票所を、北部・南部のリージョンセンターに設置すべきであると考えているが今後の予定は。

答 事前に会議室等の利用許可申請を行うことで、場所の確保が可能であると考えている。課題等の整理を行い検討していきたい。



和泉市独自の出産に係る施策について
大阪維新の会 井阪 雄大



問 子どもの出生時に祝金を支給している自治体があります。本市においても出産祝金を支給することで、一人でも多くの子どもを産むキッカケのひとつになるのではないかと。また、出生率、転入率、定着率のアップそれに伴う本市のPRにも寄与するのではないかと思います。市としての見解をお聞かせください。

答 現段階では出産祝金の支給により第3子以降の出生数が増加するとは一概には言えないことや財政面での課題もあることから今後については、他の子育て支援施策とあわせて見極めが必要と考えております。

要望 子どもを産むきっかけのひとつとして出産祝金だけにこだわることなく、出産費用の補助や地域振興券など多方面からの支援を検討していただく事をお願いいたします。

また、第5次総合計画の重点施策、冒頭に「結婚・出産・子育て」に夢や希望が持てる環境づくりとあります。子育てしやすい街をアピールする和泉市としては、今後も子育て世代が安心して出産し、ずっと住み続けたいと思うような街にしていきたいことを若者・子育て世代の代表として期待します。



セクシャルハラスメントについて
無党派 小林 昌子



問 保護者団体がわいせつ教員への免許再交付反対の5・4万筆の署名を文科省に提出した。本市では過去10年間で懲戒処分を受けた教員はいたか。又再発防止の取り組みや被害者へのケアについて聞く。

答 懲戒処分を受けた教員はおり、市としてその事実を重大な違法行為及び信用失墜行為と受け止め、即日臨時校長会を開き二度と同様の事が無いよう再発防止の徹底を図った。ケアについては児童生徒の立場に立ち、心のケアと救済を最優先に本人の権利に十分配慮し、校長指導のもと市と連携し速やかに組織的対応を行ってまいらる。

問 幼児、小学生に対する性被害についての学習や取組は。

答 公立幼稚園、保育園では日々の保育の中で絵本等を活用し、具体的な体の部位の名称で「大事なところは両親等であってもむやみに触れることは許されない。相手が誰であってもいやという気持ちは我慢せず大人に言って欲しい」と伝えている。児童には身長体重測定等でプライバシーゾーンについて養護教諭から発達段階に応じた話をしたり、担任の先生からその話題に触れ指導したりする機会は設けている。

要望 本市の指針には保護者との間におけるセクシャルハラスメントという言葉がない。本市の指針に追記してほしい。



医療ケアが必要な重度身体障がい者への支援 他1点
公明党 埴田 英伸



問 医療ケアが必要な重度身体障がい者の介護をしているご家族から悲痛な訴えを複数人から受けている。和泉市には、医療的ケアを要する方が利用できるショートステイは何軒あるのか。

答 本市内で稼働している医療的ケアが可能なショートステイはない。

問 「医療型短期入所整備促進事業」を市立総合医療センターが活用して病室の1つをそれに活用することは可能か。

答 当医療センターでは、ご家族の休息を支援するためレスパイト入院を対応しているがその枠を増設することは、病床利用はほぼ満床であり、急性期病院運営に支障をきたす状況になり困難。しかし障がい者団体等の要望もあることから、空き病床運用状況やスタッフの体制などを見極めながら、協議してまいりたい。

意見 ないものを創る困難さは承知の上。また、現場で対応する看護師の方をはじめ医療関係者の皆様にはご負担をおかけするのも承知の上で、私自身も諦めることなく、あらゆる角度からの働きかけ、実現できるようにしてまいります。医療的ケアを要する方は人口から見てもほんの少数人数かも知れない。少数人数だからこそ孤独感を感じ取り知れないものである。そこに寄り添える福祉施策をどうかよろしく願いたい。



がん患者医療用ウィッグ及び高齢者用ウィッグの助成について
明政会 坂本 健治

問 本市におけるがん検診の受診者は、令和元年度で、45,288人ですが、残念なことに、その内133人の方が、がん診断されました。がん治療では、抗がん剤治療や放射線治療の副作用で脱毛することが知られていますが、外見が変わることにより精神的な負担も大きく、通院や就労に支障をきたすなど、患者の社会生活に大きな影響を及ぼしていると考えております。そこで本市においてがん患者を支援するために、医療用ウィッグの購入費を助成する制度を導入するべきと考えるが。

答 ご指摘のがん患者医療用ウィッグの購入助成については、市の方でも府内の現状把握をしておりますが、今後も引き続き各自治体のウィッグの購入助成についての実施状況や、健康保険の医療装具の適応についての改正状況などの情報収集に努め、研究してまいります。

要望 私の調べたところでは、大阪府内で富田林市、河内長野市、貝塚市が既に実施しており、助成額は1万円から2万円程度です。先の答弁でも対象者は数十人です。で、それほど高額な予算が要る訳でも無く、導入に向けたハードルは高いとは思いますが、早期実現できるように要望する。

その他の質問項目

・都市計画における調整区域の今後について



北信太駅前整備事業
鶴山台・信太中校区
の教育環境について
市民未来の会 谷上 昇

問 北信太駅前整備の進捗状況について。

答 今年度は自由通路のバリアフリー化に向け駅西側の空間整備を含む基本設計や用地測量業務を、次年度以降事業用地の取得や市営駐輪場の移転を進める。

問 事業完了までの計画期間は。

答 事業完了まで15年間を目標とする。

問 安全対策面での計画内容は。

答 歩道と自転車通行空間の分離を行い、安全性が向上、また既存道路は地域や警察と協議し、一方通行化やカラー舗装等の検討を進め歩行者優先の道路空間を形成する。

要望 自由通路は、現在交通量が多くの危険な駅南側踏切から信太小学校へ通学する子ども達の通路路として活用できるので、この危険な状況の改善に向け早急な対応と、事業全体の完了まで相当期間を要するため、その間もできる限りの安全対策を要望する。

問 鶴山台北・南小学校の統合について。

答 現段階で統合の想定は無く、施設一体型の小中一貫校の導入も検討。

要望 将来的な対応の検討でなく、児童達には一度きりの重要な小学校教育の機会、至急より良い環境の確保が必要。この問題につき地域の声を汲み入れ解決する事、将来ビジョンの周知徹底を要望する。教育環境が充実し、子育ては和泉市でいたいと魅力ある和泉市をめざし継続し議論していく。



不登校児童生徒への支援について
大阪維新の会 遠藤 隆志

問 和泉市の不登校の現状について伺う。

答 和泉市内で年間30日以上欠席した不登校児童生徒は、小学校及び義務教育学校前期課程で77人、中学校及び義務教育学校後期課程で191人となっている。

問 学校や教育委員会では、不登校の子どもの学びを支援していくために、どのような対応を行っているのか。

答 月3日以上欠席した児童生徒について、その状況を確認し、個別の丁寧な対応に努めている。また、スクールカウンセラー等の専門家を配置し、保護者への教育相談体制の充実を図ったり、校内の指導教室や市教育センターの適応指導教室（グリーンルーム）を活用し、個別の状況に応じた学びの支援を行っている。また、民間のフリースクールを利用している児童生徒もいる。

問 このような学校外の施設で学んだ場合、出席についてどのような扱いになるのか。

答 グリーンルームで学んだ場合は、学校指導要録上は出席扱いとしている。また、民間のフリースクール等で学んだ場合は、適切であると判断した場合、指導要録上出席扱いとしている。

問 不登校の子供がICTを活用し自宅学習した場合、出席扱いになるのか。

答 学校が教育委員会と検討し、適切と判断した場合、出席扱いは可能である。



コロナ下の備蓄物資
と避難所
新たな支援策と財源
大阪維新の会 飯阪 光典



問 災害の多様化に備えた備蓄物資の在り方とその有効活用について問う。

答 備蓄食料についてロスは発生していない。食料以外の消耗品については消費期限切れ等の時点で法令に基づき廃棄している。

要望 備蓄物資については、市民の皆さんからお預かりしている税金を投入し購入しており、これら物資の有効活用を要望。また、コロナウイルス発生当初のマスク不足を鑑み出し惜しみをしない有効活用を要望。

問 コロナ下での避難所対応として、ソーシャルディスタンスを保つ必要性から現状避難所では、災害時に十分な受け入れ定員を確保するのが困難であることを指摘。

答 市指定避難所の追加設置は困難だが、避難者の混雑状況を発信するとともに、府と連携し近隣ホテルの活用・他市も含めた広域避難などの調整を行う。

要望 指定避難所に避難し、受け入れをお断りすることのないよう市民の皆さんが安心して避難できる避難所の早期検討を要望。

要望 コロナ禍での今後の支援策とその財源について質問。コロナ下でイベントの中止が相次ぎ、そのうえ以前の支援策の不用額が発生している。これらを今後の支援策に充当し、市民の皆さんの生命・財産を守り、安心・安全を確保するため、的確な支援を実施していただくことを要望。



道路について
明政会 友田 博文



問 国分トンネルは亀裂と水で非常に汚い。その状況や安全性の問題はないのか。

答 国分トンネルは、府が安全性を確認するが、非常に亀裂が多く、未補修の箇所からの漏水と石灰により汚い状況である。

要望 府での安全性の検証だけでなく、市でも確認してほしい。

問 様々な交通渋滞が発生し、池上下宮線が外環状線から湾岸道路を直接繋ぎ大変重要である。市の位置付けは。

答 この道路は、渋滞緩和だけでなく、防災上、輸送上の重要な路線である。将来の企業立地や住宅開発など南部地域における活性化を含め、市全体として必要不可欠で、府には事業の推進を強く要望している。

意見 しっかり要望していただき、早期着工に向けて取り組んでもらいたい。

問 道路がどのようにまちづくりに貢献されるのか。市長の考えは。

答 道路はまちづくりにおける都市基盤の根幹である。池上下宮線、外環状線の4車線化、また、既存道路整備を進めるとともに基幹道路沿線の産業誘致等の検討も進めている。南部地域においては検討会議を立ち上げ、ワーキングチームを設置し、検討委託業務を予定している。今後、小中一貫校の建設も予定されており、南部地域の発展により市全体の発展に繋げていきたい。



スポーツ振興と
ネット選挙・
信太の森について
明政会 スペル・デルフィン



問 テクノステージ和泉まちづくり協議会を母体として設立された女子サッカーの和泉テクノFCの市としての支援は。

答 意見交換し相互連携を進める。

問 セレソン大阪についても包括連携協定を締結する等の考えは。

答 球団と引き続き協議する。

問 小中学校にeスポーツ部設立を質問しているが、普及振興の足がかりとしてイベント開催等の取り組みは可能か。

答 民間団体等で計画され一定の要件を満たすものであれば協力する。

問 選挙時にSNS等で名誉毀損や誹謗中傷の投稿が多数あったが、事務局の対応は。

答 和泉警察署と情報共有している。

意見 誹謗中傷を軽い気持ちで書き込まない。それを許さない法整備を期待する。

問 北信太駅前整備事業の現在の状況は。

答 自由通路整備や市営駐輪場の移転を進めていく予定である。

問 信太貝吹山古墳の整備活用は。

答 駅前のランドマークとして検討する。

問 葛の葉伝説ゆかりの「鏡池」や「信太の森ふるさと館」の年間入館者数は。

答 令和元年度5,055人となっている。

要望 葛の葉伝説や陰陽師・安倍晴明ゆかりの地をPRし、パブリックアートやおみくじ等のグッズで観光振興や地域活性化を。



市民からの身近な
要望に対する
対応について
市民未来の会 大浦 まさし



問 和泉市で必要な事は言い出せばいくらでもあるが、今期で大体概ね必要な事は完了できたのではないかと感じている。

そこでそろそろ市民からの常々言われている身近な要望で、予算が掛かるから待つて欲しいと後回しの対応をしてきた内容、例えば老朽化した道路のやりかえを大幅に進めるとか、大きくなり過ぎた街路樹を撤去もしくは小さくするとか、日頃市民の皆さんが実生活の基本部分にて困っていることにウエイトを置いた対応をしてもらいたいと思っているからで、そんな日常の基本部分への今後の対応の考え方を示していただきたい。

答 今後については大規模な住宅団地内の道路についても住宅開発がされてから数十年が経過している所もあり、順次舗装の更新を行なっていく必要があると認識している。一方で維持管理が必要である公共管理物は毎年増え続けている状況であることから今後に限られた予算の中で適切に優先順位を判断しながら計画的な維持管理に努めてまいりたい。

要望 生活の基本は家であり、その周りの地域である。地域での不満が多ければ市民の満足度実感は上がってこない。
地域から上がってくる声にしっかり対応出来る市政に磨きをかけていただきたい。



和泉市内の新型コロナ
ウイルス感染症の
状況について
公明党 服部 敏男



問 新型コロナウイルス感染症についてお伺いします。新型コロナウイルスの現在の本市における感染者の状況について教えてください。

答 10月28日現在、感染者数は154人で、うち死亡者2人を含め、退院・解除となつた方は138人となっております。本市で算出したところ、大阪府内での10万人あたりの感染者数は136・1人のところ、和泉市では83・1人となっております。なお、これまで、和泉市内においてはクラスターの発生は確認されていません。

問 新型コロナウイルスと季節性インフルエンザの同時流行を抑制するため、今年度のワクチンの供給量とワクチンが有効活用されるための策があるなら教えてください。

答 今年度のインフルエンザワクチンは過去5年で最大量の約6,300万人分のワクチンが供給される予定であります。次にワクチンの有効活用として、感染すると重症化するリスクの高い高齢者から優先的に接種し、その後は定期接種対象者以外の方で、特に医療従事者、基礎疾患を有する方、妊婦、生後6ヶ月から小学校2年生までで接種を希望する方を優先しています。



妊産婦支援について
高齢者おでかけ支援
チケットについて
公明党 末下 広幸



問 結婚から妊娠・出産、子育てに至るまで切れ目のない支援についてお聞きします。

答 「子育て世代包括支援センター」の設置を行い、子育て世代の相談や定期健康診査など妊婦から乳幼児を持つ母子まで支援を行っている。

問 産後ケア事業とあわせ、産婦健康診査実施の予定についてお聞きします。

答 近隣自治体の実施状況を把握して市内関係医療機関と調整し現在検討しているところである。

問 「おでかけ支援チケット」について概要を教えてください。

答 一人あたり200円券10枚綴り、年間2,000円分を75歳以上の高齢者に交付し、南海バス専用の「なっちカード」の購入やチャージ、もしくはタクシーに利用できます。

問 利用状況についてお聞きします。

答 バスの利用は約60%、タクシーは約40%の割合となっている。

問 市内の公園におけるドッグランの設置についての考えは。

答 ドッグランの設置による効果やメリットは認識していることから、今後、周辺地域への影響や運営に対する課題などについて調査・研究を進めていく。



シティプラザでバス
ポート交付／光明池
試験場の日曜営業

五月会

関戸 繁樹



問 現在、バスポートを受領するには申請・交付の計2回、市役所本庁まで来る必要がある。シティプラザでも交付されたい。

答 国で「電子申請の導入」や「配送交付」を検討中であり、今後の国動向で判断する。

問 過去に市長から「シティプラザの機能強化と行政サービスの向上」の発言があったが、市の今後の取り組みを問う。

答 社会情勢等により必要となる市民サービスに合わせ今後も適宜機能の充実を図る。

要望 パスポートに加え、『自習室の拡充』を望む声も多い。既存サービスの見直しを含め、更なる機能強化を強く要望する。

問 現在、光明池運転免許試験場は平日のみの営業である。日曜も営業されるよう大阪府警に対して要望されたい。

答 これまでの経緯を確認の上、府警の考えや方針を踏まえ、要望について協議する。

要望 門真運転免許試験場は日曜に営業している。同等に取り扱われることを望む。

問 市役所手続の電子申請を拡充されたい。

答 可能な限り拡充を進めていく。

要望 拡充が進めば窓口職員を削減できる。《福祉》や《子育て》部門を増員し、きめ細やかで丁寧な市民対応を実現されたい。

その他の質問項目
・ 中学校の通学路へのグリーンベルト整備
・ 道路や水路、街路樹などの適正管理

意見書

3件の意見書を可決し、国の関係機関へ提出しました。

- ・ 新型コロナウイルス感染症の影響に伴う地方財政の急激な悪化に対し地方税財源の確保を求める意見書
- ・ 防災・減災、国土強靱化のための3か年緊急対策後における予算の確保を求める意見書
- ・ 保健所機能の充実と地域医療機関に対する支援強化を求める意見書

人事案件に同意

次の方々を任命・選任することについて、議会として同意しました。

教育委員会委員

とりいえ あきひろ 西家 章弘氏（堺市） くめ ひろみ氏（みずき台）
任期：令和2年11月9日～令和6年11月8日

公平委員会委員

おかもと のりこ 岡本 規子氏（春木町）
任期：令和2年11月9日～令和6年11月8日

固定資産評価審査委員会委員

つゆぐち かずお 露口 和夫氏（大阪市） こばやし みきこ 小林 実希子氏（上町）
任期：令和2年11月9日～令和5年11月8日

編集後記

今定例会で行われた議会役員の改選により、広報広聴委員会のメンバーが新しくなりました。市民の皆さまに議会活動をより分かりやすくお伝えするため、市議会だよりや映像配信などホームページの充実に努めてまいります。

広報広聴委員一同

令和2年第4回定例会の予定

議事の都合により日程・場所・開会時間の変更される場合もありますので、詳しくは議会事務局へお問合せください。 電話：0725-99-8154

日程	会議	場所	開会時間
11月19日(木)	議会運営委員会	委員会室	午後1時
11月26日(木)	本会議(議案審議)	議場	午前10時
12月1日(火)	厚生文教委員会・協議会	委員会室	午前10時
12月2日(水)	都市環境委員会・協議会	委員会室	午前10時
12月3日(木)	総務企画委員会・協議会	委員会室	午前10時
12月4日(金)	議会運営委員会	委員会室	午後1時
12月10日(木) ～14日(月)	本会議(一般質問)	議場	午前10時
12月15日(火)	本会議(議案審議)	議場	午前10時

令和2年第3回定例会・委員会の傍聴

	開催期間	傍聴者	ライブ映像 中継閲覧者(※)
本会議	10月1日 ～10月30日	9人	96人
常任委員会	10月16日 ～10月20日	2人	57人

※ 開催日ごとのライブ中継閲覧者数のうち、最大アクセス時の人数を累計したものです。